

【ナーシングケア】

【かんたき】は社会的課題となっている【介護離職】の防止を支援します
(※かんたき=看護小規模多機能型居宅介護 / 看取り対応可能)

Nursing Care



(※利用者の範囲は制度により限定されています。裏面の施設一覧をご覧ください。)

自宅で、或いは【かんたき】で
寄り添い、癒し、治し、そして看取る



仕事を続けながら親の介護・家族介護のできる環境設定

【かんたき】の営業時間：年中無休

通 い：7：00～21：30

(送迎サービス：初発7：00自宅着～最終21：30自宅着)

泊 まり：21：30～7：00

※尚、緊急時医療介護相談は各施設にて24時間体制で受け付けています。

24時間・365日の介護サービス

仕事と介護の両立を目指して

表紙：訪問看護ステーション城東 作業療法士 比嘉 亜樹 「かんたき城東夏祭り」にて

Nursing Healthcare ナーシングヘルスケア株式会社

Information

総合在宅ケアサービスセンター〈かんたき(有床)+訪問看護ステーション+ケアプランセンター〉

かんたき(看護小規模多機能型居宅介護)とは

介護が必要になっても住み慣れた地域や自宅で療養できるように「通い」「泊まり」「訪問(看護・リハビリ・介護)」を必要に応じ、組み合わせて利用できる地域密着型の介護サービス。ご利用者は要介護度1～5、事業所の所在地の市町村区にお住まいの方が対象となります。



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム6室
総合在宅ケアサービスセンター-上新庄
所在地 〒533-0014 大阪市東淀川区豊新2-9-8
TEL 06-6815-8808
Mail kamishinjou-takinou@holonicsystem.com



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム6室
総合在宅ケアサービスセンター-城東
所在地 〒536-0011 大阪市城東区放出西2-14-14
TEL 06-6167-0535
Mail jyoto-takinou@holonicsystem.com



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム9室
総合在宅ケアサービスセンター-大東
所在地 〒574-0055 大東市新田本町4番26号
TEL 072-806-3400
Mail daitou-kangotakinou@holonicsystem.com



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム6室
総合在宅ケアサービスセンター-堺下田
所在地 〒593-8329 堺市西区下田町19番15号
TEL 072-269-0505
Mail sakai-takinou@holonicsystem.com



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム6室
総合在宅ケアサービスセンター-尼崎
所在地 〒661-0965 尼崎市次屋1丁目9番1号
TEL 06-6498-0894
Mail amagasaki-takinou@holonicsystem.com



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム7室
総合在宅ケアサービスセンター-児島
所在地 〒711-0913 倉敷市児島味野1丁目4番23号
TEL 086-470-5600
Mail kojima-takinou@holonicsystem.com



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム7室
総合在宅ケアサービスセンター-河内長野
所在地 〒586-0011 河内長野市汐の宮町12番2号
TEL 0721-56-8600
Mail kawachinagano-takinou@holonicsystem.com



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム9室
総合在宅ケアサービスセンター-八尾北本町
所在地 〒581-0802 八尾市北本町4丁目7番14号
TEL 072-923-9200
Mail yaokita-kantaki@nursing-hc.co.jp



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム7室
総合在宅ケアサービスセンター-武庫之荘
所在地 〒661-0045 尼崎市武庫豊町2丁目12番2号
TEL 06-6431-5535
Mail mukonosou-kantaki@nursing-hc.co.jp



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム9室
総合在宅ケアサービスセンター-住之江
所在地 〒559-0006 大阪市住之江区浜西2丁目5番4号
TEL 06-6673-2411
Mail suminoe-kantaki@nursing-hc.co.jp



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム9室
総合在宅ケアサービスセンター-堺長尾
所在地 〒591-8045 堺市北区南長尾町2丁目2番19号
TEL 072-257-1710
Mail sakainagao-kantaki@nursing-hc.co.jp

〈【かんたき】は社会的課題となっている【介護離職】の防止を支援します〉

訪問看護ステーション

訪問看護ステーション摂津

〒566-0021 摂津市南千里丘5番23ユニエス南千里丘103号
TEL:06-6317-8567

ケアプランセンター

ケアプランセンター摂津

〒566-0021 摂津市南千里丘5番23ユニエス南千里丘103号
TEL:06-4860-8277



発行 2018年10月 / ナーシングヘルスケア株式会社
編集 営業広報部・企画デザイン室
〒532-0011 大阪市淀川区西中島3-18-9 新大阪日大ビル5階
TEL:06-6302-1009 FAX:06-6302-4322
Mail:info@nursing-hc.co.jp http://www.nursing-hc.co.jp

「おうちのチカラ」 かんたき 多職種の 生活リハビリ

今回ご紹介するご利用者は、「おうちのチカラ」を実感した方です。ご家族の献身的な介護のチカラと併せて、かんたきスタッフ（リハビリ技士・看護師・介護士）が在宅と「かんたき」で、どのようにご利用者に関わらせていただいているのかをご紹介します。

目標は「自宅に帰る」

2018年1月、城東中央病院（大阪市城東区）から、退院されたYさん（85歳）。

パーキンソン病とがんによる甲状腺の全摘出の手術歴があり、昨年の8月発熱、脱水症、意識レベルが低下し、自宅介護が困難となり

入院。入院期間の間、症状がよくなり悪くなったという一進一退の状態を繰り返していました。

ご家族は、入院時より「自宅で介護したい」という希望をお持ちでしたが、退院時のYさんは、ご家族が食事介助しても受け付けず、服薬も受け付けませんでした。介助するご家族は疲労から、胃ろうの造設を要望し、自宅退院は困難という状態でした。

胃ろう造設の検討も含め、一旦退院となり、自宅療養とリハビリの継続を目的として、「かんたき城東」のご利用を開始、Yさんの病状が安定するまで「かんたき」での泊まりの利用となりました。

自宅のような 「かんたき」でまず連泊

「まるで自宅のようなので、ホッとされたのでしょうか？」「かんたき城東」ご利用開始当日、夕食を少し召し上がり、翌日にはご自身でお茶碗をもって食べられるようになったのです。ご家族が胃ろう造設やむなしと思っていた中でこの食欲には本当に驚きました。おうちのチカラというか、在宅に戻られるとご利用者が元気になる時間が早いような気がします」と話すのは「かんたき

作業療法士 訪問看護ステーション 城東 比嘉 亜樹

城東「川合智永子看護師。

デイルームでは、ご利用者がいろいろ話しかけてくれます。面白いとした雰囲気や生活音は個室の病院とは違います。最初は緊張で硬い表情をしていたYさんも毎日「かんたき」に面会に通ってくるご主人の顔を見て少しずつリラックスしてきました。

「かんたき」で他のご利用者が食べている様子を見て、自分も食べる意欲がわいてきたのではないのでしょうか」と娘さん。

「段階を踏んでご自宅で生活を準備をしましょう」ご本人・ご家族と「かんたき」スタッフの共通の目標が現実味を帯びてきました。自宅で安全に長く生活をするために、ご利用者のケアだけでなく、24時間365日生活全般に関わるご家族さんの支援も含めかんたき多職種チー



ムが一丸となって支える準備を進めました。

**生活リハで、現状維持
ご家族へは介助指導**

「今日はたくさんご飯を食べられましたか？」比嘉亜樹作業療法士の質問に「うーけというほどではないけど」としっかり応えるYさん。

「ただ家にいるだけで表情が穏やかで、受け応えもしっかりできるよになりました。最初のころとはぜんぜん違います」と話す比嘉作業療法士は、Yさんが1月より連泊で「かんたき」を利用していった時からリハビリを担当しています。

4月より、泊まりが週3日、残りの日は「通い」と訪問を組み合わせたケアプランとなりました。比嘉作業療法士は毎週水曜日午後にご自宅への訪問リハビリを

ご主人に支えてもらいながら、廊下を通り、リビングへ、Yさんの席に座るといった生活の場での歩行訓練。



「かんたき」ご利用3カ月後4月のYさんご利用スケジュール
「泊まり」=週3回 日曜「訪問」=2回
水曜「訪問リハビリ」=2回 「訪問」おむつ交換（看護師）2回

	日	月	火	水	木	金	土
7:00							
8:00					おむつ交換		かんたき「通い」
9:00				訪問		かんたき「通い」	
10:00		かんたき「通い」	かんたき「通い」	訪問		かんたき「通い」	
11:00	訪問						
12:00							
13:00							
14:00				訪問			
15:00					おむつ交換		
16:00							
17:00	訪問						
18:00							
19:00							
20:00							
21:00							



「かんたき」の見学

多根脳神経リハビリテーション病院様が
かんたき住之江へ
施設見学にお越しいただきました。



大阪市港区にある多根脳神経リハビリテーション病院は、脳神経外科の専門医療と回復期リハビリテーションを担う病院です。7月11日（水）診療部の医師はじめ看護師さん合わせて3名が「かんたき住之江」（住之江区浜口西）へお越しいただき、施設内部のご見学とかんたきのシステムについてご質問いただきました。第一印象は「なんだか近所に遊びにきたみたいで、施設に来ている感じではないですね」と。`大きな家、というご感想でした。

「かんたき」では施設内で提供する食事だけでなくお家からの持ち込みも可能となっています。また、病院から「かんたき」への連携では、病院の入院期間では十分な時間がとれない「吸引」「おむつ交換」「インスリンの自己注射」などご家族さんへの介護指導も「かんたき」に泊まっていたり、お仕事帰りの夜の時間帯、日曜・祝日に指導をして、介護の方法をつかんで、在宅に戻っていただくことが可能です。「病院でも介護指導はしていますが、かんたきには訪問看護師がいるので、在宅で介護方法を指導すると、ずっと入ってくると思います」と多根脳神経リハビリテーション病院の医師。

「夜間の体制」については、呼吸器や吸引など医療ケアの必要なご利用者に対して看護師が対応しています。

かんたき住之江の山崎敦子所長は「50代のほぼ寝たきり状態で「かんたき」に通われた方が、今、ベッドサイドで立位の訓練や、自走式の車いすで床を蹴りながら移動する訓練ができるようになりました。高齢で胃ろうから栄養を摂っている方も、利用開始後より嚥下訓練を続け今ではプリン1個食べられるようになったりと良くなってこれているという実感があり、かんたきは楽しいです」。看護師、リハビリ技士、ケアマネジャー、介護士など多職種のスタッフが包みこむようにご利用者、ご家族を支えていることをお伝えしました。



言語聴覚士
訪問看護ステーション
城東

比嘉作業療法士がかんたきスタッフ全員に認識してもらうための、Yさんの立ち上がり方法や座位のポジショニングの指示書。「かんたき」通い、の時は、看護師と介護士がリハビリ技士の指示のもとリハビリを実施しています。

行っています。

病気の特徴からどうしても拘縮が進むYさんの手足の緊張の緩和と介助するご家族の負担の軽減につながるリハビリを行っています。具体的には開きにくくなった指を動かす、四肢関節の可動域訓練、座位の安全な保持、歩行訓練などを実施しています。

とても世話好きなご主人は、ご自宅での歩行訓練も意欲的で、「前はぜんぜん歩けただけど、今はリビングまでなんとか歩けるようになった」と生活の中で少しずつ改善する様子が楽しみと話されます。

ご自宅にいる間の介護はご主人と仕事をしている娘さんが行っています。リハビリが介入することで「ひとりで座れる」「介助しながら歩くことができる」など今出来る能力を最大限に活かしながら、状態の変化にフレキシブルに対応しながら、自助具や福祉用具のチャカラを借りてご自宅で過ごしていただける状態を長く続けることがYさんのご家族の不安や負担の軽減につながっていると考えています。

訪問のたび「現在の状態で介助しやすいか」など介助の方法を見ていただき、指導を行ったりしています。

お食事が摂れるようになったことがなにより

「今日は自分でスプーンを持って、2口ぐらい食べたんです」とご主人。

同じ水曜日に、言語聴覚士が訪問リハビリを行っています。退院直後は胃ろう造設を考えていたことから、介助が必要ながらもお食事が摂れる状態になったことが、ご自宅に戻れるようになったのもとても大きな要因でした。

言語聴覚士は、飲み込む力を維持するための発声練習、口腔内の様子、唾液の分泌や、舌の動きなどのチェック、呼吸がしやすいようにマッサージのリハビリを実施しています。「Yさんの場合、今の状態を良くするというより、今の状態を保つ、悪化させないというリハビリを指しています」と話します。

また、朝、夕方2回訪問看護師がオムツ交換と経過観察に訪問しています。ご自宅にいても、「かんたき」にいる時と同じようにサービスを提供できることが「かんたき」のシステムです。訪問の際は「お父さん、夜はしっかり眠れていますか？」と常に介護するご家族の心身の状態も確認させていただいています。

切れ目無く続く介護のある生活の中で、ご家族が抱える介護の負担は大きくなっていきます。「孤立したり、抱え込んだりしないように、無理なときは遠慮なく言っていただけコミュニケーションを日ごろからとっておくことがポイントです」と川合看護師は話します。

総合在宅ケアサービスセンター尼崎
 所長 緩和ケア認定看護師
 榮元 由香



column

こころのかたち こころの色 思いを紡ぐ
聴診器の向こうがわ

今、日本は世界的に類をみない超高齢者社会を迎えています。

今から7年後の2025年。団塊の世代が一斉に75歳以上の後期高齢者となり、医療と介護の両方を必要とする人が急増します。

一方で「多死社会」の到来とも言われています。現在約120万人の年間死亡者数が、2025（平成37）年には約160万人と予測されています。

「看取り難民」という言葉も生まれています。現在病院で亡くなる人が約8割ですが、医療制度や設備の整備により、今後、病院で最期を迎えるということは難しくなってくるでしょう。

「やっぱり家がいい」や「最期まで家で暮らして良かった」を聞くからです。病气や老いと上手く付き合いたいから、泣いたり笑ったり：人の持つチカラに、こちらがパワーを頂くほどです。

がん末期のお父様を自宅で看取ったご家族のお話しです。便秘になったら、緊急コールの電話が鳴り、食事を摂らないと言っては、また緊急コール。救急車！と慌てふためくことも度々でした。それでも私たちは、わかっていました。このご家族は必ず、お父様の「最期まで自宅で過ごしたい」という希望を叶えるチカラを持っていることを。

私が病院勤務時代から今に至るまで、看護を実践する上で大切にしていることは、「利用者（患者）さんやご家族の持つチカラを信じてあげること」です。ただし、たった1人で出来ることにも限界があります。

このがん末期の利用者（患者）さんのケースも急性期病院の医療従事者、緩和ケア病棟の医療従事者、そして在宅チームがタッグを組んでサポートしました。看護師は、そのチームを調整して、それぞれの持つチカラを引き出したり、利用者（患者）さんの希望を叶えるための代弁者の役割を持つと考えています。

利用者（患者）さんやご家族がどんなに気持ち揺れたとしても、最期まで、その人らしく暮らし続けることが出来るような地域のチーム作りを目指して、これからも、かんたき尼崎訪問看護ステーション尼崎は頑張ります！



かんたき夏祭りを開催しました。

8月に各「かんたき」事業所でご利用者、ご家族、地域の皆様とともに夏祭りを開催いたしました。猛暑の中、たくさんの方にご参加いただき有難うございました。



ナーシングヘルスケアの **介護講座**
介護は突然に！！
知っておこう介護保険について

ケアプランセンター上新庄 主任介護支援専門員 奥尾 啓美

7月24日（金）14：00～東淀川区民会館にて介護講座を行いました。たくさんの方にお越しいただき有難うございました。講座の一部をご紹介します。

突然の入院。退院後介護が必要に。
慌てて福祉用具を購入しないでください！！

突然の入院。ご家族が退院後の生活を想定して慌てて福祉用具を購入し、いざ退院となった場合に退院時のご本人の身体の状態と福祉用具が合わない。「せっかく購入したのに・・・」という場合が少なくありません。

入院直後は、歩けなかった方が歩行器を利用すれば歩ける様になったり、車椅子に座ることができた方が普通の車椅子では座れなくなってしまったり、身体機能の変化により退院時に必要な福祉用具が変わってしまうことはよくあります。

福祉用具の購入には高額な費用がかかりますし、置き場所も無限大ではありません。費用だけでなく身体の状態や変化に合わせて、その時々で最適な福祉用具や住宅改修（手すりの設置や段差解消・ドアの変更など）を利用することで、ご本人が安楽に過ごせたり、ご家族が介護がしやすくなります。

介護保険の申請や退院に際して自宅での環境を整えたり、実際にできなくなった機能に対して入浴や排せつ・食事・リハビリ・家事の支援（掃除・洗濯・食事の準備）など、どんな支援があれば自宅での生活を続けることができるのか、入院中にケアマネジャーに相談してみませんか？

福祉用具貸与の価格※1割負担/1カ月当たり	
	車いす（リクライニングなど含む） 150円～1,000円
	介護用ベッド（付属品含む） 800円～1,500円 ※要支援1～要介護1の方は介護保険外の 実費利用になることがあります
	歩行器 200円～500円
	手すり（取り付け工事不要のもの） 200円～500円
	4点杖 100円～

福祉用具購入の価格※1割負担	
	ポータブルトイレ 2,000円～10,000円
住宅改修の価格※1割負担	
	手すり 1,800円～ (工事内容により変動します)

※介護保険の負担割合は介護保険認定時に保険者証に同封されている負担割合証（黄色）に記載されています。

些細な事でも、お気軽にご相談ください。 ケアプランセンター上新庄 TEL.06-6379-6781

ナーシングヘルスケア(株)では、各事業所がある地域の老人会・自治会で様々な「介護講座」を実施しております。お気軽にお問合せください。TEL.06-6302-1009